

**CONTENTS**

- 活動報告・各種会議議事録
- 会員動静
- 学会関連カレンダー
- 残留農薬分析知っておきたい問答あれこれ改訂4版2018出版のご案内
- 講師派遣のご案内
- 日本農薬学会第45回大会での託児室の申込みについて

令和元年度 第2回常任評議員会議事録

日 時：令和元年9月14日(土) 12:00～15:20

場 所：日本植物防疫協会 地下会議室

出席者：出席者 14名, 欠席者 3名

議事：

- I. 令和元年度第1回常任評議員会議事録, メール審議議事録の確認
- II. 経過報告および議案
 1. 財務関係
 - ・令和元年度収支決算(5月1日～8月31日)について報告があった。
 - ・海外渡航費補助の今期対応と規定見直しについて検討し, 規定改正案を承認した。
 2. 編集委員会
 - ・JPSへの投稿及びアクセス状況について報告があった。
 - ・JPSのオープンアクセス化について報告があった。
 3. 学術・技術支援委員会
 - ・学術・技術支援委員会の開催について報告があった。
 - ・農薬科学研究奨励金報告について報告があった。
 4. 将来計画委員会について報告があった。
 5. 学会賞受賞者選考委員会について報告があった。
 6. 役員選出規定が細則第17条に則り改定され, 後日評

議員会に付議することとなった。受賞候補者の選考については表彰規定の改定は必要ないことが確認された。

7. 顧問, 終身会員, 名誉会員の推薦について報告があり, 終身会員として4名を評議員会に推薦することが報告された。
8. 2019-2020年度学術小集会委員の変更について報告があった。
9. 日本植物防疫協会, 三学会会長懇談会について報告があった。
10. 技術士育成推進委員会について報告があった。
11. 昆虫科学連合, 植物保護科学連合について報告があった。
12. 公益財団法人農学会, 一般社団法人日本農学会について報告があった。
13. 国際学会の渡航費補助について報告があり, 1名の渡航費補助が承認された。
14. 研究会の後援・協賛についての確認があった。
15. 入退会について報告があり, 16名と1団体の入会が承認された。
16. 第45回大会関係
 - ・準備状況について大会実行委員長より報告があった。
 - ・大会シンポジウムについて報告があった。
17. その他
 - ・会員数の推移について報告があり, 会費の値上げについて検討した。
 - ・農芸化学会との連携シンポジウムの開催について報告があった。
 - ・PacifiChem2020について報告があった。

令和元年度 第3回常任評議員会議事録

日 時：令和元年12月7日(土) 13:00～17:20

場 所：日本植物防疫協会 地下会議室

出席者：出席者 14名, 欠席者 2名

議事：

- I. 令和元年度第2回常任評議員会議事録，メール審議議事録の確認
- II. 経過報告および議案
 1. 財務関係
 - ・令和元年度収支決算（1月1日～11月30日）について報告があった。
 - ・令和2年度予算案について報告があった。
 - ・令和2年度学術小集会収支予算案について報告があった。
 2. 編集委員会
 - ・農業誌，JPS掲載内容について報告があった。
 3. 学術・技術支援委員会
 - ・学術・技術支援委員会活動について報告があった。
 - ・農業科学研究奨励金報告について報告があった。
 4. 将来計画委員会について報告があった。
 5. 学会賞受賞者選考委員会
 - ・受賞者選考過程と結果について報告があった。
 6. 2019年度日本植物防疫協会と3学会の打ち合わせについて報告があった。
 7. 2019年度3学会会長懇談会について報告があった。
 8. 技術士育成推進委員会について報告があった。
 9. 昆虫科学連合，植物保護科学連合について報告があった。
 10. 公益財団法人農学会，一般社団法人日本農学会について報告があった。
 11. 研究会の後援・協賛について報告があった。
 12. 入退会について報告があり，26名の入会が承認された。
 13. 第45回大会関係
 - ・準備状況について大会実行委員長より報告があった。
 - ・大会シンポジウムについて報告があった。
 14. その他
 - ・内部監査指摘事項への対応について報告があった。
 - ・来年度大会開催地を評議員会に付議することが承認された。
 - ・来年度常評日程について検討され承認された。

第206回常任編集委員会議事録

日 時：令和2年1月11日(土) 15:00～

場 所：京都大学農学部総合館 応用生命科学専攻第一セミナー室

出席者：10名

議事：

1. JPS Vol. 44, No. 3, No. 4および日本農業学会誌 Vol. 44, No. 2を発行したことが報告された。
2. JPS Vol. 45, No. 1を2月20日にオンラインで，日本農業学会誌 Vol. 45, No. 1は冊子体で発行予定である。農業学会誌にはIUPAC2019の報告を掲載することが報告された。
3. 2019年JPSへの投稿は93編あったが，52編が掲載否となった。また，2019年の論文ダウンロード数は月平均約8500で，2018年の6100をかなり上回った。
4. JPSオープンジャーナル化に向けた準備を行い，1月初めにDOAJ (Directory of Open Access Journal)へ申請を行った。それに先立ち，Instructions for Authorsを修正した。
5. JPS Vol. 45, No. 2に米山弘一先生のReviewを掲載予定である。また，梅津憲治先生にもReviewの執筆依頼をした。
6. JPSに掲載される論文が増えたこと，農業学会誌のカラー記事が多かったことで，学会誌刊行費が大幅アップした。その対策を検討した結果，JPSの冊子体は2020年を最後に廃止することにした。農業学会誌のカラーに関しては，カラーの図を同一ページにまとめるなど，印刷費の節約を行う努力をすることになった。
7. 常任評議員会から国際情報発信強化ということで，科学研究費補助金の申請について提案があった。すでに国際情報発信強化は行っており，仮に採択されたとしてもそれは一時的なもので予算として計上することは妥当でないという結論に達した。ただし，科研費を元に単発的な国際情報発信強化企画を提案し，編集以外の目的に利用しても良いかもしれない。
8. JPS冊子体を廃止するに伴い，カラー印刷費は不要になることから，タイトルページの刷新について議論し，カラー化する検討を始めた。
9. 第46回編集委員会を大阪府立大学I-siteなんばにおいて開催予定である。

令和元年度第2回学術・技術支援委員会議事録

日 時：令和元年12月21日(土) 13:00～17:30

場 所：日本植物防疫協会地下会議室

出席者：16名

議事：

学術・技術支援委員会が取り組んでいる以下の各活動について今年度の報告があり，次年度の予定および予算について検討した。

1. 「農薬について知ろう」Webサイト
2. 「残留農薬分析 知っておきたい問答あれこれ」書籍出版
3. 講師派遣
4. 農薬残留分析セミナー
5. 学会ホームページ運営
6. その他

水谷 基文 齋藤 順英

学生会員

卯津羅萌音 石井優之介 小山 倫之 竹内 瑞穂
松井 大樹 松本 紘明 山村 円香 田谷 彬人
宇野 寛人 片山 峻樹 丸野 晃暉 富士 平和
岩城健太郎 芦田 直樹 矢野 楓

海外会員

LIMING, Tao (受付順)

令和2年度 日本農薬学会賞の決定

学会賞受賞者選考委員会で選考された奨励賞、業績賞（研究・技術）、および功労賞の受賞候補者について、評議員（会長、副会長を含む）による無記名投票を行った結果、受賞者が下記の通り決定された。また、編集委員会から推薦され学会賞受賞者選考委員会で選考された論文賞候補についても評議員（会長、副会長を含む）による無記名投票を行い、受賞論文が決定された。

奨励賞

- ・安東 大介：沈水有根植物フサモにおける農薬の代謝挙動に関する研究（住友化学株式会社）
- ・元木 裕：農薬の土壌吸着特性と植物移行性に関する研究（農林水産消費安全技術センター）

業績賞（研究）

- ・片木 敏行：農薬の環境動態・代謝における理論有機化学的研究（住友化学株式会社）
- ・清田 洋正：農薬創製に資する生物活性天然物に関する合成化学的研究（岡山大学）

業績賞（技術）

- ・古谷 敬、菊武 和彦、長谷部 元宏、長井 寛明、織田 雅次：殺菌剤「ピラジフルミド」の開発（日本農薬株式会社）

論文賞

- ・Mamiko Shino, Takahiro Hamada, Yoshio Shigematsu, Kangetsu Hirase, and Shinichi Banba: "Action mechanism of bleaching herbicide cyclopyrimorate, a novel homogenisate solanesyltransferase inhibitor", 43, 233-239 (2018)

功労賞

- ・故上路 雅子氏, 近内 誠登氏, 西村 勁一郎氏

会 員 動 静

(令和元年9月1日～令和元年11月30日)

入会

正会員

蝦名 渉平 高橋あゆみ 海老原 俊 野上麻美子
福永 悟史 岩田 実里 来田丈太郎 大橋 拓実

退会

正会員

赤司 宗貴 花井 涼 橋床 泰之 井上 淳
鬼塚 博 佐野 慎亮 内田 淳 角谷 直哉
金容 賢 内藤 優 青木 智史

学生会員

橋本 里奈 朽尾 紗央 疋田 麻衣 野口 晃
平野 和希 高島 良磨

学会関連カレンダー

太字は日本農薬学会が主催、共催、協賛、後援する会議等

2020年

3月

5日(木) 第3回日本生物防除協議会シンポジウム

主 催：日本生物防除協議会

会 場：北とびあ つつじホール [〒114-8503 東京都北区王子1丁目11-1]

U R L：http://www.biocontrol.jp/03symposium.html

8日(日)～10日(火) 日本農薬学会第45回大会

主 催：日本農薬学会

会 場：大阪府立大学中百舌鳥キャンパス [〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1-1]

U R L：http://pssj2.jp/congresses/45/taikai45.html

10日(火) 第18回農薬バイオサイエンス研究会（第45回大会と共催）

主 催：日本農薬学会、農薬バイオサイエンス研究会

会 場：大阪府立大学中百舌鳥キャンパス [〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1-1]

U R L：http://pssj2.jp/congresses/45/taikai45.html

15日(日)～17日(火) 第64回日本応用動物昆虫学会大会

主 催：一般社団法人 日本応用動物昆虫学会

会 場：名城大学天白キャンパス [〒468-8502 愛知県名古屋市中区天白区塩釜口1-501]

U R L : <https://64.odokon.org/>

19日(木)~21日(土) 令和2年度日本植物病理学会大会

主 催：日本植物病理学会

会 場：かごしま県民交流センター [〒892-0816 鹿児島市山下町14-50]

U R L : <https://www.kntk.co.jp/ec/2020/pssj/index.html>

22日(日) 第30回殺菌剤耐性菌研究会シンポジウム

主 催：日本植物病理学会

会 場：かごしま県民交流センター [〒892-0816 鹿児島市山下町14-50]

U R L : <http://www.taiseikin.jp/>

4月

24日(金) 第37回農薬生物活性研究会

主 催：日本農薬学会, 農薬生物活性研究会

会 場：東京農業大学 世田谷キャンパス 百周年記念講堂 [〒156-8502 東京都世田谷区桜丘1-1-1]

U R L : <http://pssj2.jp/committee/bioactivity.html>

9月

15日(火)~18日(金) アジア植物病理学会

主 催：日本植物病理学会

会 場：つくば国際会議場 [〒305-0032 茨城県つくば市竹園2-20-3]

U R L : <https://acpp2020.org>

24日(木) 第35回報農会シンポジウム

主 催：公益財団法人 報農会

会 場：北とびあ つつじホール [〒114-8503 東京都北区王子1丁目11-1]

U R L : <http://www.honokai.org>

10月

15日(木)~16日(金) 第40回農薬製剤・施用法研究会

主 催：日本農薬学会, 農薬製剤・施用法研究会

会 場：はまぎんホール ヴィアマール (横浜銀行本店ビル内1F) [〒220-8611 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-1-1]

U R L : <http://pssj2.jp/committee/seizai/seizai40.html>

29日(木)~30日(金) 第38回農薬環境科学研究会

主 催：日本農薬学会, 農薬環境科学研究会

会 場：アリストンホテル神戸 [〒650-0046 兵庫県神戸市中央区港島中町6-1]

U R L : <http://pssj2.jp>

30日(金) 第35回農薬デザイン研究会

主 催：日本農薬学会, 農薬デザイン研究会

会 場：メルパルク京都 [〒600-8216 京都市下京区東洞院通七条下ル東塩小路町676番13]

U R L : <http://pssj2.jp/committee/design.html>

11月

5日(木)~6日(金) 第43回農薬残留分析研究会

主 催：日本農薬学会, 農薬残留分析研究会

会 場：ホテルグランヴェール岐山 [〒500-8875 岐阜市柳ヶ瀬通6-14]

U R L : <http://pssj2.jp/committee/residue.html>

詳細未定 第19回農薬バイオサイエンス研究会 (植物化学研究会と共催)

主 催：植物化学研究会, 日本農薬学会, 農薬バイオサイエンス研究会

会 場：東京大学薬学部講堂 [〒113-0033 東京都文京区本郷7丁目3-1]

U R L : <http://pssj2.jp/committee/bioscience.html>

12月

4日(金) 第28回農薬レギュラトリーサイエンス研究会

主 催：日本農薬学会, 農薬レギュラトリーサイエンス研究会

会 場：北とびあ [〒114-8503 東京都北区王子1丁目11-1]

U R L : <http://pssj2.jp/committee/regulatory.html>

学会主催会議などの詳細

第37回 農薬生物活性研究会シンポジウム

主 催：日本農薬学会, 農薬生物活性研究会

日 時：2020年4月24日(金) 10:00~16:50 (9:30受付開始)

会 場：東京農業大学 世田谷キャンパス 百周年記念講堂 東京都世田谷区桜丘1-1-1 (小田急線経堂駅または千歳船橋駅から徒歩15分)

TEL: 03-5477-2207 (総務課) <http://www.nodai.ac.jp/campus/map/setagaya/>

1. プログラム

10:00~10:05 開会あいさつ

研究会委員長

【特別講演】

10:05~10:50 ドローンで農薬を散布する際の留意点 (仮題)

高橋 基子 (農林水産省 消費・安全局 農産安全管理)

課)
岡田 和秀 (農林水産省 消費・安全局 植物防疫課農薬対策室)

10:50~11:35 ドローンを活用した農薬散布の世界的現状について (仮題)

住田 靖浩 (XAIRCRAFT JAPAN (株))

【殺虫剤編】

11:35~12:20 新規殺虫剤トリフルメゾピリムの生物活性 (仮題)

大上 恵 (コルテバ・アグリサイエンス (ダウ・アグロサイエンス日本 (株)) 研究開発部)

12:20~13:30 休憩 (昼食)

【除草剤編】

13:30~14:15 新規除草剤フルチアセットメチルの生物活性 (仮題)

内海 誠 (丸和バイオケミカル (株) 開発本部開発部)

14:15~15:00 新規除草剤酢酸の生物活性 (仮題)

杉丸 勝郎 (フマキラー (株) 開発研究部)

15:00~15:15 休憩

【殺菌剤編】

15:15~16:00 新規殺菌剤ジクロベンチアゾクスの生物活性 (仮題)

大高 伸明 (クミアイ化学 (株) 生物科学研究所)

16:00~16:45 新規殺菌剤イソフェタミドの生物活性 (仮題)

福森 庸平 (石原産業 (株) 中央研究所)

16:45~16:50 閉会あいさつ

研究会委員長

2. 参加申込

1) 参加料：一般；3,000円，学生；1,000円（講演要旨代含む）

2) 申込：事前申し込みは不要です。当日直接会場までお越しください。

3) 連絡先：東京農業大学 農学部農学科 植物病理学研究室 岩波 徹

TEL: 046-270-6498 FAX: 046-270-6226

第43回 農薬残留分析研究会

主催：日本農薬学会，農薬残留分析研究会

日時：2020年11月5日(木)~6日(金)

会場：ホテル グランヴェール岐山

岐阜市柳ヶ瀬通6-14 (<https://www.kourituyasuragi.jp/gihu/>)

参加費等 (事前登録料金，当日参加費)：

研究会参加費：会員5,000円 (当日7,000円)

非会員8,000円 (当日10,000円)

学生2,000円 (当日3,000円)

情報交換会：8,000円

エクスカーション (先着45名)：3,500円

「残留農薬分析知っておきたい問答あれこれ改訂4版2018」出版のご案内

日本農薬学会では、精度の高い残留農薬分析を実施する上で特に配慮すべき事項を「Q&A」形式に取りまとめた「残留農薬分析知っておきたい問答あれこれ」を出版しています。2003年に初版を発行以来、好評を博して改訂を重ねてまいりましたが、この度、改訂4版を上梓する運びとなりましたのでお知らせします。改訂4版では、前3版出版以降の農薬登録制度の動向を反映させ、最新の科学的知見を盛り込むよう全文の見直しを行ったうえで、初学者の方にも、より読みやすくなるよう心がけて内容を再整理しました。また、携行性を高めるために軽量化を図りました。前版と同様に残留農薬分析の基本やノウハウを得るための参考書として、さらに、食の安全に関心をお持ちの幅広い方々に対しても、農薬の規制についての理解の一助となるようお役立て頂けると幸いです。定価は3,000円です (送料別)。

購入申込み方法：

メールまたはFAXにて、以下の日本農薬学会事務局に氏名、所属、メールアドレス、電話番号、送付先住所、購入冊数 (FAX申込みの場合はFAX番号) 等をご連絡下さい。また、メール等の件名には「問答あれこれ購入」と記入して下さい。折り返し請求書 (送料を含む) を同封し発送しますので、振込みをお願いします。詳細は、学会ホームページもご参照ください。

日本農薬学会事務局：

〒114-0015 東京都北区中里2丁目28番10号 日本植物防疫協会内

FAX: 03-5980-0282

MAIL: nouyaku@pssj2.jp

学会HP: http://pssj2.jp/overview/book_zanryu.html

※平成30年の農薬取締法改正に伴い更新が必要となった記事を新旧対照表として取りまとめました。学会ホームページ上 (http://pssj2.jp/overview/book_zanryu.html) で公開していますので、ご参照ください。

講師派遣のご案内

日本農薬学会では、一般市民や農業、教育関係の方々に農薬に関する知識や食料生産、食品安全、環境影響などに関する理解を深めていただくことを目的として、専門家を講師として派遣しています。派遣講師が行う講義の内容は、ご要望にできる限り沿うようにしたいと考えておりますので、遠慮なくご相談ください。本活動にご興味がありましたら、学会ホームページ (http://pssj2.jp/overview/semina/haken_16.html) をご参照のうえ、日本農薬学会事務局にご連絡ください。

日本農薬学会第45回大会での託児室の申込みについて

お子様をお持ちの会員の方々に安心して大会に参加していただくために、乳幼児を含む未就学児童から小学生（6ヶ月～12歳）までのお子様を大会期間中にお預かりする託児室（無料）を設置いたします。託児室の利用をご希望の方は、下記の大会組織委員会までご相談ください。

問い合わせ先：日本農薬学会第45回大会組織委員会

〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1-1 大阪府立大学大学院生命環境科学研究科

TEL: 072-254-7341

E-mail: okazawa@plant.oskafu-u.ac.jp

担当：岡澤 敦司

発行所：日本農薬学会

〒114-0015 東京都北区中里2-28-10

一般社団法人日本植物防疫協会内

TEL: 03(5980)0281 FAX: 03(5980)0282

E-mail: nouyaku@pssj2.jp